鳥取県立船上山少年自然の家　主催事業

# 平成30年度「ちっちゃい探検隊①」実施報告書
## 七夕大作戦
## ～2人をつなぐ48人の妖精～

Ⅰ　事業の概要

1　期　日

平成３０年６月３０日（土）・７月１日（日）

2　日　程

| ６月３０日（土） | | ７月１日（日） | |
|---|---|---|---|
| 9:30 | 受付 | 6:30 | 起床 |
| 10:00 | 出会いのつどい | 7:00 | 朝のつどい |
| 10:45 | 交流レクリエーション | 8:00 | 朝食 |
| 12:00 | 昼食 | 9:00 | キラキラ☆七夕パーティー（野外炊飯） |
| 13:00 | ステッキな妖精に大変身！（クラフト） | 12:00 | 昼食・荷物整理 |
| 14:30 | 星をとりもどせ！～妖精たちの挑戦～（野外オリエンテーリング） | 13:30 | 感想記入 |
| | | 14:30 | 別れのつどい |
| 17:30 | 夕食 | 15:00 | 解散 |
| 18:40 | みんなの力で織姫を救い出せ（館内探検） | | |
| 20:00 | 入浴 | | |
| 21:30 | 就寝 | | |

3　趣　旨

・親元を離れ、大自然の中で仲間と生活することを通して、自分で行動する自信をつける。
・班の中で自分の意見を言えたり、友達の意見を聞いたりすることができる。
・友達と力を合わせることを楽しいと感じることができる。

4　対　象　　小学校１年生～３年生（募集定員４８名）

5　応募者数１６０名、当日参加者数４８名

小１…男子８名、女子８名　　小２…男子８名、女子８名　　小３…男子８名、女子８名

6　参 加 費　３，７００円（食費・シーツ代・保険料など）

7　学生ボランティア３７名　（鳥取大学９名、島根大学２７名、佛教大学１名）

Ⅱ　実施状況

■１日目の活動の様子＜６月３０日（土）天候　雨＞

毎回大人気の「ちっちゃい探検隊」シリーズ第１弾である。これは学生による企画運営で行われ、スキルアップセミナー①、②から続く本番という位置づけになっている。学生たちは前日から自然の家に宿泊し、本番へ向けて最終準備を行った。

１日目、４８名の「ちっちゃい探検隊」が船上山にやってきた。まずは、交流レクリエーションを行った。自分の班だけではなく参加者全員、そして学生ボランティアとも触れ合える楽しい内容であり、あっという間に全体が和やかな雰囲気となった。

昼食を終え体育館に集合すると、みんなの前に闇の住人セジョールが現れ、天の川を壊してしまった。みんなは天の川を直す、星の妖精になるためのステッキづくりをすることになった。クラフト活動「ステッキな妖精に大変身！」では、妖精のステッキを思い思いのデザインで創作し、満足そうな表情がたくさん見られた。

雨天のために、その後の活動はすべて館内に変更となったが、準備をしっかりしてきた甲斐あって、館内オリエンテーリングもナイト企画もスムーズに進行できた。

そして妖精たちのみんなが、がんばったおかげで天の川は直り、悪者セジョールを倒すことにも成功した。彦星と織姫は無事に再開を果たして、和やかな雰囲気の中、１日目の日程を終えた。

■２日目の活動の様子＜７月２日（日）天候　晴れ＞

２日目の天気は快晴。前日の雨の湿気もあり、朝から暑さを感じるほどの陽気となった。

最初の活動の「キラキラ☆七夕パーティー」では、みんなで協力してカレー作りをした。ニンジンを星型、ハート形に型抜きをして、炊きあがったご飯も星型に盛り付けた。コロッケも星型、デザートも七夕ゼリーと、七夕パーティーにふさわしい内容だった。どの班も力を合わせて、おいしいカレーを作り上げることができた。

昼食後は、みんなの願いがかなうようにと、子どもたちは短冊に願い事を書き、ステッキに結び付けた。

別れのつどいの後は、恒例の記念撮影。みんな妖精のステッキを持って、彦星・織姫と共に撮影をした。最後に１泊２日を共にすごした班付きサポーターからのメッセージカードをもらい、子どもたちはとてもうれしそうにしていた。班付きサポーターと握手をしたり、抱き付いたり、いつまでも別れを惜しむ様子が見られた。

## Ⅲ　総　括

１　参加者の感想（抜粋）

・たのしかったことは、１つめは友だちがいっぱいつくれたことです。２つめはみんなできょうりょくをしたことです。きょうりょくをしていたからおいしいカレーをつくれました。

・きたときはしらない大学生ばかりで、きんちょうしていたけど、いっしょにあそんでいたら、話せるようになってよかったです。かわいいステッキが作れてよかったです。

・はじめは友だちができるかしんぱいだったけど、ゲームやステッキづくりを大学生の人たちが計画してくれたおかげで、みんなとなかよくなれてうれしかったです。

２　学生ボランティアの感想（抜粋）

・子どもたちが彦星と織姫のために、一生懸命に取り組んでいる姿を見て、何事にも一生懸命に取り組むことの大切さを改めて実感しました。また、初めてすることにも恐れずにチャレンジすることを私自身、見習いたいと思いました。

・今回は、特に２人の男の子の姿から学ぶことがありました。１人目はＴくん。最初は全く活動に参加できないほどでしたが、ナイト企画から見違えるほど活動を楽しんでくれました。子どもの順応力の高さに心動かされるとともに、大学生側としても根気強く接していくことが大事だと感じました。２人目はＲくん。３年連続で参加してくれて、１年生２年生から、一段と成長していて、みんなを引っ張っていく姿、３年間の成長を見せてくれて感動しました。

・１人の子に注視してしまい、他の子が危険なことをしているのに気づいていないことがあったと聞きました。そうした不注意を無くすためにも、状況を把握・判断し、より広い視野を持って子どもたちと接していきたいです。

３　成　果

・子どもたちを引き込むテーマ、演出、内容だった。学生の力の大きさを感じた。

・とても楽しめる企画だった。細かいところまで準備もいろいろ工夫されていて良かった。

・ボランティアサポーターが多く、充実していた。１回生のボラは上級生から学ぶことも多かったのではないかと思う。次につながっていくとよいなと感じた。

４　課　題

・地震の影響で、学生の中間発表後の物品注文では間に合わないものがあった。スキル②終了後、１日でも早く物品注文できるようにする必要があった。

・活動場所や活動内容を全職員で共通理解しておくことが大切。

・学生ボランティアの人数と参加児童の人数のバランスについて検討が必要。